

# 山梨県立 考古博物館だより

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

NO. 72

発行 山梨県立考古博物館 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923  
発行日 平成23年9月27日 TEL 055-266-3881 (代) FAX 055-266-3882

## 第29回特別展

# 縄文土器名宝展

## ～縄文芸術の到達点～

重要文化財一の沢遺跡（山梨県笛吹市）  
重要文化財50点、この秋、名宝がここに集まる！  
9月28日(水)～11月23日(水・祝) 休館日：毎週月曜日（10月10日は開館）

### ごあいさつ

このたび山梨県立考古博物館では、第29回特別展として「縄文土器名宝展－縄文芸術の到達点－」と題して、重要文化財50点を中心に100点の縄文土器の優品を展示いたします。

山梨県は縄文時代の遺跡が1900ヶ所もあり、全国でも有数の芸術性の高い縄文土器の宝庫です。当館では、そのことを多くの方々に知っていただくために、これまでも縄文時代をメインテーマとした特別展に取り組んでまいりましたが、今回は、特に縄文土器の文様や器の形といった視点からの卓越した芸術の素晴らしさについて取り上げています。

今回の展示では、山梨県の4遺跡をはじめ、長野県、新潟県、群馬県、栃木県、福島県の11遺跡の重要文化財50点を集めました。これほどに縄文時代中期の重要文化財が一堂に会する機会はないことなのでしょう。また、指定品以外の逸品を加え、山梨県内の13遺跡をはじめ、合計25遺跡100点の名品を展示し、その素晴らしさをご鑑賞いただきます。

是非、この機会にご来館いただき、県内外からの縄文土器の名品を見比べていただき、縄文人の芸術性の高さ、精神文化の奥深さ、縄文人が何を語りかけようとしたのかを、それぞれの視点で汲み取っていただければ幸いです。

平成23年9月

山梨県立考古博物館 館長 金子 辰男

# 第29回特別展 縄文土器名宝展 ～縄文芸術の到達点～

## 縄文中期の重要文化財50点 一挙公開！！

今から1万3千年ほど前に始まり、おおよそ1万年以上続いた縄文時代。その中で生み出された縄文文化は特に東日本で繁栄し、約5,000年前の縄文時代中期には最も盛り上がりを見せます。山梨県を含む中部高地は縄文時代の遺跡が数多く知られ、縄文文化が最も栄えた地域の一つとして、全国的にも注目されています。

このように縄文時代中期に東日本で発達した、装飾性に優れ、芸術性が高く、まさに縄文芸術の到達点ともいえる絢爛豪華な文様で飾られた土器のうち、今回は関東甲信越から東北南部にかけての地域の国の重要文化財に指定されている優品を一堂に集め、展示しました。各地域の土器文化の独自性と奥深さから、豊かな力強い縄文土器の迫力を満喫していただく機会としたいと思います。

### 1 縄文芸術の競演

今回展示する4つの地域の縄文土器を一堂に展示します。縄文土器として初めて国宝に指定された新潟県笹山遺跡の火焰型土器（展示は複製品）やかつての郵便はがきの図案にもなった長野県曾利遺跡の水煙土器など、迫力満載です。

#### 重要文化財4点／長野県宝1点

- 国宝 新潟県十日町市笹山遺跡火焰型土器（十日町市博物館所蔵・展示は複製品）
- 長野県宝 長野県富士見町曾利遺跡水煙土器（長野県井戸尻考古館所蔵）



国宝 新潟県十日町市笹山遺跡火焰型土器▲  
(十日町市博物館)

### 2 燃え上がる火焰型土器の世界

新潟県地域に色濃く分布する火焰型土器。燃え上がる炎のような独特で華麗な形状は、考古学の分野だけではなく岡本太郎など美術界からも高い評価を受けました。国の重要文化財である馬高遺跡の火焰型土器や、数々の火焰型土器・王冠型土器のほか、他地域との積極的な交流を伺わせる津南町の道尻手遺跡の資料を一堂に展示します。

#### 重要文化財1点／新潟県指定文化財2点

- 国の重要文化財 新潟県長岡市馬高遺跡火焰型土器（長岡市馬高縄文館所蔵）
- 新潟県津南町道尻手遺跡 火焰型土器・王冠型土器など多数（津南町教育委員会所蔵）



新潟県津南町道尻手遺跡王冠型土器▲  
(津南町教育委員会)

### 3 ドーナツ状の突起、渦巻く曲線、華麗な文様の世界

長野県から群馬県にかけての北関東地域に分布する焼町土器。土器の表面につけられた集合線による曲線は繊細で、土器の縁につけられた突起はどれも独特です。国の重要文化財である川原田遺跡や道訓前遺跡の土器群の他、群馬県指定重要文化財の道訓前遺跡出土の三原田型深鉢も併せて展示します。北関東地域の地域性を伺うことができる資料です。

#### 重要文化財14点／群馬県指定重要文化財3点

- 国の重要文化財 長野県御代田町川原田遺跡焼町土器など（浅間縄文ミュージアム所蔵）
- 国の重要文化財・群馬県指定重要文化財 群馬県渋川市道訓前遺跡焼町土器など（渋川市教育委員会所蔵）



重要文化財 長野県御代田町▲  
川原田遺跡焼町土器（浅間縄文ミュージアム）

## 4 各地に影響を与えた、東北の優美な文様の世界

東北南部地域に分布し、新潟県の火焰型土器を初めとする各地の土器に影響を与えたのが大木式土器です。土器の器壁には繊細な渦巻き文様が描かれるのが特徴で、福島県の法正尻遺跡では大木8式土器の他、火焰型土器や加曾利E式土器などが出土しており、当時の地域交流の一端も知ることができます。

### 重要文化財 16点

- 国の重要文化財 福島県磐梯町法正尻遺跡  
大木式土器（福島県文化財センター白河館所蔵）
- 国の重要文化財 栃木県那須塩原市槻沢遺跡  
加曾利E式土器（栃木県那須塩原市那須野が原博物館所蔵）
- 国の重要文化財 群馬県渋川市房谷戸遺跡  
阿玉台式土器（財団法人群馬県埋蔵文化財調査センター所蔵）



重要文化財▲  
福島県磐梯町法正尻遺跡大木式土器  
（福島県文化財センター白河館）

## 5 突き上げる力ぞして水けむりのような文様

縄文時代中期の中部高地では、豪華なばかりでなく、多様性に富んだ土器文化が展開されました。中部高地に分布する水煙文土器は、新潟地域の火焰型土器に対し、まるで水煙が立ったような力強い文様を持っています。また、トロフィーのような突起を持つ国の重要文化財一の沢遺跡の土器群など、中部高地の土器の力強さを再認識する展示です。

### 重要文化財 15点／長野県宝 1点

- 国の重要文化財 山梨県笛吹市一の沢遺跡 深鉢形土器（当館所蔵）
- 国の重要文化財 長野県富士見町藤内遺跡 深鉢形土器（長野県井戸尻考古館所蔵）
- 長野県宝 長野県富士見町曾利遺跡 深鉢形土器（長野県井戸尻考古館所蔵）



重要文化財▲  
山梨県笛吹市釈迦堂遺跡水煙文土器  
（釈迦堂遺跡博物館）

## 第29回特別展「縄文土器名宝展～縄文芸術の到達点～」のご案内

**開催期間** …9月28日（水）～11月23日（水・祝）月曜日は休館します（10月10日は開館）

**観覧時間** …午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

**観覧料** …一般・大学生 600(480)円 小・中・高校生 300(240)円

※（ ）内は20名以上の団体料金

※ 常設展の観覧は、別途常設展観覧料が必要です。

※ 特別展+常設展セット（共通観覧券）は個人・団体関係なく  
一般・大学生 640円、小・中・高校生 320円です。

※11月20日（日）県民の日は観覧無料です。



## 関連するイベントのお知らせ

### 特別講演会＜要お申込み＞

10月9日（日）「岡本太郎が発見した縄文芸術」 講師：山梨県立美術館 学芸員 春原（すのはら）史寛（ふみひろ）氏

10月30日（日）「縄文芸術の世界」 講師：國學院大學 教授 谷口 康浩氏

11月13日（日）「縄文文様を分解する」 講師：山梨県埋蔵文化財センター副主幹・文化財主事 今福 利恵（りけい）氏

### 史跡文化財セミナー＜要お申込み＞

10月23日（日）「甲斐風土記の丘の古墳群」 講師：当館学芸員 石神 孝子

### その他の関連イベント＜お申込み不要＞

10月22日（土）「縄文王国山梨巡回イベント」

11月3日（木・祝）「縄文土器で煮てみよう！」

11月20日（日）「県民の日イベント」

### ぬりえをぬって考古博物館へ行こう！

特別展のぬりえをぬって考古博物館へ持ってきてくれた小学生は特別展観覧料が無料になります。



講演会・セミナーの  
お申し込み・お問い合わせ  
山梨県立考古博物館  
055-266-3881  
インターネット・携帯電話からも  
お申し込みいただけます。

# 第23回 風土記の丘こどもまつりを開催しました

今年は5月3・4日の2日間、風土記の丘・曾根丘陵公園をメイン会場に開催しました。2日間で延べ5000人近くの方に会場いただきました。毎年大人気の「勾玉作り」、「トンボ玉作り」に加え、今年は「超ミニチュア銅鐸作り」「縄文どんぐり染め」を新たに追加し、様々なアトラクションで楽しみながら、古代への興味、関心を高めていただきました。



みんなてたごう!縄文土器太鼓



古代の火起こし体験!!

### ★アトラクション内容★

- 「古代の火起こし」体験→まいぎり式火起こし器で火起こしを体験!
- 「超ミニチュア銅鐸作り」→古代の銅鐸を忠実に再現!
- 「狩獵体験」→弓矢での狩獵体験!
- 「古代と遊ぼう」→埴輪を的にした輪投げや、土器や土偶のバスルにチャレンジ!
- 「勾玉作り」体験→親子で古墳時代のアクセサリー勾玉作り!
- 「トンボ玉作り」体験→古代の装身具作りに挑戦!
- 「縄文土器太鼓」体験→岡谷市民が中心の「JOMON DOKI DRUM BAND 森の精霊」の演奏に参加して太鼓をたたこう!
- 「縄文どんぐり染め」→縄文土器でトンクリを煮て、その色を布に染めてみよう!
- 「史跡ウイスイウォークラリー」→曾根丘陵公園内や博物館内にあるウイスイを解きながら公園内を散策!

### 小・中学生親子ものづくり教室

## チャレンジ博物館

- \*第1回「弥生時代の矢じりをつくろう」(5/15)  
石をけずりみがいて当時の矢じり(矢の先端部)をつくることを通して、磨製石器をつくる技術を体験しました。
- \*第2回「縄文時代の布を編んでみよう」(6/19)  
縄文時代以来の技法「編布(あんざん)」という編み方でコースター作りを体験しました。
- \*第3回「縄文かごをつくろう」(7/3)  
「縄文ポシェット」を参考に、小さめのかごづくりをしました。小さめのかごを作りながら、縄文時代の「編む」技術を体験学習しました。
- \*第4回「縄文土器をつくろう」(7/17,24,8/7)  
夏休み恒例のイベント。県内出土の実物をモデルに、天然ものの粘土を素材にして土器づくりの技術を学びました。
- \*第5回「縄文時代のアクセサリーをつくろう」(8/21)  
博物館に展示されている県内出土品を参考にし、けつ状耳がさりをつくりました。



### 大人のものづくり教室

## 原始古代の技に学ぶ

本格的な材料・方法を用いつつ、「普段使い」できるものづくりを体験します。

- \*第1回「寿山石で勾玉を作る」(4/23)
- \*第2回「銅鐸作り体験」(5/14・22)
- \*第3回「縄文土器づくり教室」(6/4,11,25)
- \*第4回「トンボ玉づくり教室」(7/9)
- \*第5回「草木染め教室」(8/13)
- \*第6回「青銅鏡作り体験」(9/3,11)



※ものづくり教室は、10月以降も開催いたします。ご案内は6ページをご覧ください。



## 夏休みフリーパスポートで考古博物館を満喫!

今年も県内の小中学生に「4館夏休みフリーパスポート」が配布されました。この夏休みフリーパスポートは、県立博物館、美術館、文学館、当館の4館が行っているもので、7月10日～8月31日の期間、児童・生徒がこれを持参すると何回でも観覧料が無料になります。今年も昨年同様に猛暑となった夏でしたが、多くの児童・生徒さんが来館してくれました。

また、これにあわせて7月16日(土)から8月31日(水)までイベントを開催しました。毎年勾玉づくりに参加してくれている小学生。青銅鏡作りを体験し、鏡のうつくしさに見せられた中学生。暑い中、銚子塚古墳と丸山塚古墳に汗だくで登り、合い言葉を見つけてきてくれた小学生たち。受験勉強の合間に博物館を訪れ、記念に拓本を作って帰った中学生。姉妹でトンボ玉作りに参加してくれた中学生や友達と協力して火起こしに挑戦した小学生。今年から新たに始めた超ミニチュア銅鐸作りに参加してくれた小中学生のみなさん。大勢のみなさんが、夏休み中、考古博物館でいろいろな体験をして楽しんでくれました。



本物そっくりの超ミニ 拓本カード作りに挑戦 チュア銅鐸! 大好評! 中!

### ☆開催イベント☆

「トンボ玉をつくろう!」「青銅鏡をつくろう!」「古代の火起こしにチャレンジしよう!」「勾玉をつくろう!」「超ミニチュア銅鐸作り!」「土器の拓本カードをつくろう!」「古墳にのぼって合い言葉をみつかけよう!」

## ◇史跡文化財セミナー

県内の史跡を歩いて探訪する史跡文化財セミナー、第48回「於曾屋敷と武田ゆかりの寺院」では、甲州市教育委員会の飯島泉先生を講師に、武田氏とゆかりの深い史跡を訪ねました。第49回「天狗沢瓦窯跡と往生塚古墳」では、甲斐市教育委員会の大寫正之先生を講師に、天狗沢の瓦窯跡史跡について詳しいお話を話頂くとともに、大塚古墳や往生塚古墳など甲斐市内の史跡を訪ねました。第50回「河口浅間神社と周辺の文化財」では、富士河口湖町教育委員会の杉本悠樹先生を講師に、河口浅間神社を中心に、その周辺の史跡を巡りながら、富士山信仰と河口地区の歴史について解説いただきました。毎回多くの方にご参加いただき、有意義な学習を行うことができました。

- 第48回「於曾屋敷と武田ゆかりの寺院」(甲州市) 4月17日(日)  
 ○於曾屋敷、甘草屋敷、菅田天神社、向嶽寺など
- 第49回「天狗沢瓦窯跡と往生塚古墳」(甲斐市) 6月12日(日)  
 ○往生塚古墳、黄梅院跡、天狗沢瓦窯跡、大塚古墳など
- 第50回「河口浅間神社と周辺の文化財」(富士河口湖町) 7月31日(日)  
 ○鎌倉往還、滝沢遺跡、河口浅間神社(本殿・七本杉・山宮)、河口地区御師住宅など



第48回史跡文化財セミナー  
甘草屋敷見学の様子

## ◇考古学講座

毎年、県内各地でおこなわれている発掘調査。遺跡から出土した考古資料から、古代のくらしはいったいどのようなものだったのか、県内で活躍する研究者の方に春・夏企画展、特別展に関する内容で講義していただきました。各回とも約40名程度の参加をいただきました。また4回すべての講座を受講された方が20名おり、修了証をお渡ししました。参加者のみなさまの関心の高さに驚きました。

- 第1回「お鍋とお釜の考古学～土器からみる煮沸器具の変遷～」 6月5日(日)  
 講師：榎原功一氏(帝京大学山梨文化財研究所)
- 第2回「生ゴミの考古学～骨から探る古代の食生活～」 6月26日(日)  
 講師：植月 学氏(山梨県立博物館)
- 第3回「縄文土器の作り方～土器の製作実験から～」 7月17日(日)  
 講師：村松佳幸氏(北杜市教育委員会)
- 第4回「大陸から伝わった器～須恵器の登場と消長～」 8月7日(日)  
 講師：石神孝子(当館学芸員)



第3回考古学講座の様子

## ◇考古博物館の日

月の第4土曜日を考古博物館の日として、昨年度からさまざまなイベントを行っています。今年度も、普段は触ることのできない本物の土器や石器などに触れて頂いたり、古代人の衣装を身につけて雰囲気味わってもらったり、様々なイベントを行いました。お子様から大人まで「考古学」をより身近に感じてもらい、考古学のおもしろさを感じてもらうことができました。

- 4月23日(土)「古代衣装を着てみよう！」  
 5月28日(土)「土器で煮てみよう！炊いてみよう！」  
 6月25日(土)「土器カードをつくろう！」  
 7月30日(土)「考古博物館まるごと探検隊！」

※5月28日(土)のイベントは雨天のため内容を変更して実施しました。



古代衣装を着た  
参加者の方



まるごと探検隊！  
収蔵庫見学の様子

## ◇春・夏の企画展から

春季企画展展示の様子▶

### ●春季企画展「古代の台所～縄文土器から圧力鍋まで～」

4月23日(土)～6月26日(日)

土器で煮炊きが始まったのは、今から13,000年前の縄文時代草創期。古代のやまなしに住んだ人々はどのように煮炊きし、何を食べていたのか、煮炊き具や食器などの調理具の変遷から、台所の歴史を紹介しました。



### ●夏季企画展「大陸から伝わった器～山梨の須恵器Ⅱ～」

7月16日(土)～8月31日(水)

古墳時代の中頃(約1,600年前)には、大陸から新しい灰色の焼き物「須恵器」が伝わりました。須恵器が山梨に伝えられ、現代の陶器の元祖となっていく様子を紹介しました。



東山南遺跡(甲府市)・二之宮遺跡(笛吹市)出土の古式須恵器▶

# 考古博物館 展示会・イベント(2011.10～2012.3)

## 展示会

会場 考古博物館 特別展示室  
エントランスホール(干支展)  
風土記の丘研修センター(風土記の丘望見展)

これらの展示会は**観覧無料**です!  
※ただし常設展を観覧される場合は常設展  
観覧料が必要です。

- ◆冬季企画展「甲州市内の出土品～勝沼氏館跡の発掘調査を中心に～」  
12月10日(土)～2012年1月29日(日)  
今回は甲州市教育委員会が発掘調査した成果を展示する企画展。甲州市勝沼町に所在する、国指定史跡勝沼氏館跡より発掘された遺物を中心に展示します。  
◇関連講演会「甲州市内の出土品ミニ講演会」 1月22日(日)
- ◆平成24年 新年干支展 2012年1月2日(月)～1月29日(日)  
平成24年の干支「辰」に関する資料をエントランスホールにてミニ展示します。
- ◆風土記の丘望見展 2月1日(水)～3月20日(火・祝)  
風土記の丘研修センターで開催する体験イベント等の成果を展示します。
- ◆第9回わたしたちの研究室展示会 2月7日(火)～3月4日(日)  
県内の小中学生から募集した考古学や歴史学に関係した研究成果(応募全作品)を展示します。
- ◆山梨の遺跡展2012 3月10日(土)～4月8日(日)〈山梨県埋蔵文化財センター主催〉  
主に平成23年度、山梨県内で発掘調査された遺跡の調査・整理作業の成果を展示します。



勝沼氏館跡下駄・椀出土状況  
写真：甲州市教育委員会提供

## ものづくり教室

★ものづくり教室は、開催日1か月前より風土記の丘研修センターにて参加お申し込みを受け付けます。  
\*定員あり。  
\*参加費 チャレンジ博物館：無料。 原始・古代の技に学ぶ：教材費・保険料が必要です。

### チャレンジ博物館(小・中学生・保護者対象)

- 縄文土器をつくらう 10月2日(日)  
特別展関連イベントです。縄文時代と同じ方法で土器作り  
にチャレンジ(当日は土器の形づくりのみ行います)。
- 縄文人のごちそう どんぐりを味わってみよう  
10月23日(日)
- 弥生時代の石ぼうちょうをつくらう 10月30日(日)
- ユニークな土偶をつくらう 11月6日(日)
- 古代の青銅鏡をつくらう 12月4日(日)、18日(日)
- 干支の土鈴をつくらう 1月8日(日)  
縄文時代の土で作られた丸い鈴と平成24年の干支「辰」  
をモチーフとした土鈴を作ります。
- 古墳時代のはにわをつくらう 2月5日(日)  
新企画です。古墳の上に立て並べられた素焼きの焼き物一  
埴輪。ミニ円筒埴輪を作ります。

### 原始古代の技に学ぶ(高校生以上の方対象)

- 勾玉作り 10月15日(土)、1月14日(土)
- トロボ玉作り 10月29日(土)、11月5日(土)
- 草木染め 11月19日(土)  
染色は弥生時代から続く伝統技術です。古代の貴人がま  
とった色を現代に再現し、秋冬向けのあたたかい素材を天  
然染料で染めてみます。
- 青銅器作り 12月3日(土)、11日(日)
- 草木染め 1月21日(土)・22日(日)
- 縄文土器作り 2月4・11・25日(土)
- 青銅器作り 3月17日(土)、25日(日)



完成例  
縄文土器を  
つくらう



完成例  
勾玉作り

## イベント

★イベントの詳細はホームページに随時掲載していきます。  
また、お電話でお気軽にお問い合わせください。  
★お申込みが必要なものは開催日の1ヶ月前から参加お申し込みを受け付けます。

- ◇月の第4土曜日は、考古博物館の日! イベント「縄文王国山梨巡回イベント」10月22日(土)  
山梨が誇る縄文土器をみたり、狩猟体験や石器で木の実割りなどの体験ができます。
- ◇イベント「縄文土器で煮てみよう!」11月3日(木・祝)  
実際に土器で縄文人が食べていたというどんぐりなどを煮てみます。
- ◇第51回史跡文化財セミナー「甲斐風土記の丘の古墳群」10月23日(日)  
当館学芸員の説明を聞きながら、風土記の丘公園内にある国指定史跡跡子塚古墳などを  
歩いて巡ります。また、開催中の特別展も学芸員の解説を聞きながら見学します。
- ◇県民の日イベント「クイズに挑戦して、縄文鍋を食べよう!」11月20日(日)  
県民の日(11月20日)は、特別展・常設展ともどなたでも観覧無料。  
クイズラリーに挑戦すると、おいしい縄文鍋が食べられます(先着順)。
- ◇古代のもちつき 1月2日(月)、3日(火)  
稲作に関する出土品を見学。黒米などの古代米を混ぜたおもちを、木の臼と出土品を  
参考に製作した、竪杵で実際について味わいます。
- ◇月の第4土曜日は、考古博物館の日! イベント「考古博物館でお宝発見!!」1月28日(土)  
学芸員の解説を聞きながら常設展・企画展を見学、また普段は見ることのできない  
博物館収蔵庫も見ることができます。本物の土器などの出土品に触れることもできます。
- ◇考古博物館冬まつり 2月25日(土)  
2回目の冬まつり。狩猟体験や土器で煮炊きなど古代の体験ができます。

### 平成23年度 博物館学芸員実習

平成23年7月28日(木)  
より8月7日(日)までの10  
日間、博物館学芸員実習を  
行い、2名の学生を受け入  
れました。  
実習では、展示の見学や  
遺物梱包・写真撮影の実習、  
イベントの補助、展示会計  
画レポートの作成などを行  
いました。



遺物の梱包実習の様子

学校・団体用

# 見て歩いて体験して学習しよう

## ○考古博物館および周辺古墳の説明メニュー

### 当館のおすすめコース

- 考古博物館見学…展示室概略コース 40～60分  
エントランスホールにて概略を説明後、職員が先導して詳細説明を行います。
- 古墳見学…現地同行概略コース 30～50分  
古墳現地まで職員が同行し、古墳の概略説明を行います。
- \*上記以外のコースについては、風土記の丘研修センター ※1までお問い合わせいただくか、考古博物館ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>
- \*見学する人数に応じて、コースを選択・設定することができます。グループ分けなどにより最大 250名程度対応できます。



## ○原始・古代の技術体験学習メニュー ※2

区分	所要時間	内 容 等	人数等	材料費
古代の火起こし	約 40～50 分	古代の火起こしの概要説明とまいぎり式火起こしを体験します。1グループ(4～6名)に1組の発火具で、時間内に交代で体験します。※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です)	130名まで	—
	約 60～80 分	原始から近世までの火起こしに関する詳細説明と主にまいぎり式を用いた火起こしを体験します。もみぎり式やひもぎり式、弓切り式等の火起こし体験も可能です。※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です)	30名まで	—
まが玉作り	約 80～90 分	素材は滑石(20×10×30 cm)。紙ヤスリで削ってまが玉を作ります。 ※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です)	50名まで	1人 150円
古代の編み物	約 80～90 分	編布(アンギン)は、カラムシやミヤマイラクサ、麻などからとった植物繊維を素材とする日本最古の布で、各地の縄文時代の遺跡から発掘されています。当館では「越後アンギン」にない専用の編布台を使って、麻ヒモでコースターを作ります。※小学校5年生以上	30名まで	1人 100円
縄文の土鈴作り	約 30～60 分	一人 50gの粘土で球形の土鈴を製作します。半球形のを二つ作り、中に粘土の粒を数個入れつなぎ合わせます。表面をきれいにし、文様を入れます。1週間ほど乾燥させた後、野焼きで焼成させます。※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です ※ 宅配便でのお送りも可能です(別途学校負担)。	30名まで	1人 100円

- ※1 小・中学校、高等学校等の見学のお申し込みは、TEL055-266-5286(風土記の丘研修センター)へ  
小・中学校、高等学校等以外の団体でのお申し込みは、TEL055-266-3881(考古博物館)へお願いします。
- ※2 体験学習は、考古博物館を見学した学校・団体に限ります。  
なお、体験学習のお問い合わせ、申し込みは風土記の丘研修センターへ  
\*考古博物館(古墳)から風土記の丘研修センターへは、遊歩道が設けられています。(20～25分程度かかります。)

## 職場体験・インターンシップを受入れています。

当館では、毎年県埋蔵文化財センターと共同で中学生の職場体験学習及び高校生のジュニアインターンシップの受入れを積極的に行っています。今年度は、県立白根高等学校や山梨市立山梨南中学校の生徒など10校24名の生徒の皆さんが来館し、考古博物館や埋蔵文化財センターでの仕事を体験しました。

※体験の主な内容(期間に応じて内容が変わります)

- ・博物館と学芸員について(講義) ・常設展の概要(見学)
- ・教育普及活動・土器の拓本・発掘体験・整理作業など

平成23年度受入校(9月末日現在)

白根高等学校、山梨南中学校、玉穂中学校、甲陵中学校、富竹中学校、  
甲府東中学校、城南中学校、甲府西中学校、甲府南中学校、甲府北東中学校



★学校向けに古代衣装レプリカ教材を貸出しております★

忍野村立忍野小学校の皆さん▶

社会科の授業などで是非ご活用ください。

古代衣装貸出、職場体験・インターンシップのお申し込みは…TEL 055-266-3881(考古博物館まで)



小・中学生の研究成果を募集しています!  
**第9回わたしたちの研究室**

夏休みの自由研究や選択社会、総合的な学習の時間など、児童・生徒の研究作品を募集しています。

この事業は、小中学生のみなさんが考古学や歴史の楽しさを知り、興味を持つ機会とするために実施しております。優秀作品を表彰する他、応募いただいた研究成果すべてを公開・展示いたします。



第8回展示の様子

内容	山梨県の考古学や歴史学などの社会科歴史的分野に関係する研究成果
対象	県内の小中学生(個人やグループ、学級・学年・学校単位)
部門	個人研究部門・小学校の部 個人研究部門・中学校の部 児童・生徒がそれぞれ自由なテーマで、または教育課程において統一したテーマで取り組んだ個人研究・作品およびグループ研究・作品 団体研究部門
表彰	学級・学年・学校(部活動等を含む)で行った研究または統一したテーマのもとで研究した児童・生徒個人の成果をとりまとめたもの、あるいはその指導過程 3つの部門それぞれ 最優秀賞(教育委員長賞)1名、優秀賞(教育長賞)2名、努力賞(県考古学協会賞)若干名、奨励賞(館長賞)若干名
応募規定	①学校で取りまとめて郵送もしくはご持参ください。 ②研究成果(表紙)・作品には学校名・学年・氏名・ふりがな・テーマを記載してください。 ③申し込み時に「参加申込書」(様式1)と「展示用解説書」(様式2、団体部門Ⅱのみ)をご提出ください。 ④未発表のものであれば過去(概ね1年以内)に研究した成果でも応募可とします。
応募期間	平成23年9月1日(木)～11月30日(水)
表彰式	平成24年2月5日(日)
発表会	平成24年2月5日(日)
展示会	平成24年2月7日(火)～3月4日(日)

※ご応募の詳細・応募用紙などは当館ホームページに掲載しております。

もう手にしましたか?  
**縄文王国山梨マップ 縄文、満喫。**

縄文王国山梨マップ「縄文、満喫。」を縄文王国山梨で作製しました。これには、縄文王国山梨各館の情報が掲載されています。



縄文王国山梨各館などでもらえます!

**縄文王国山梨 7館**

- 山梨県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、
- 韮崎市民俗資料館、北杜市考古資料館、
- 富士吉田市歴史民俗博物館、
- 南アルプス市ふるさと文化伝承館、
- 山梨県立考古博物館

お馴染みの体験イベント縄文王国山梨巡回イベントや縄文王国山梨各館がその館を代表する資料を持ち寄って展示する、縄文王国山梨巡回展など随時開催中です。

「縄文、満喫。」ブックを持って、縄文王国山梨各館へお越しください♪各館皆様のご来館をお待ちしています。

※ 次回の巡回イベントは

10月22日(土) 考古博物館で開催!



↑ブログは携帯電話からもアクセスできます。

○縄文王国山梨については考古博物館ホームページまたは、縄文王国山梨のブログをご覧ください。

Blog:  
<http://ameblo.jp/kingdom-of-jyoumon/>

この用紙はミニブックの形に折れます。



**考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内**

**山梨県立考古博物館** TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで  
 ただし、入館は午後4時30分まで  
 休館日 毎週月曜日(祝祭日・振替休日を除く)  
 祝日の翌日(日曜日・祝日を除く)  
 12月29日～1月1日

- ※次の場合観覧料が免除になります
- ・65才以上の方(ただし、特別展は県外の方を除く)
  - ・障害者手帳をお持ちの方
  - ・毎週土曜日の小・中学生、高校生
  - ・県民の日(11月20日)
  - ・県内の学校の教育課程での見学(下記参照)

**県内の学校の利用と観覧料免除について**

- ・教育課程(県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は観覧料が免除になります。
- ・見学予定日の10日くらい前までに、観覧料免除申請書を提出してください。
- ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。

学校見学の申し込みと問い合わせ先  
 055(266)5286 風土記の丘研修センター

**交通**

(1) 路線バスの利用  
 ・甲府駅より豊富行(中道橋経由) - 「県立考古博物館」下車  
 ・甲府駅より市立甲府病院行 - 市立甲府病院で下車乗り換え・富士急平和観光バス古閑町行 - 「風土記の丘農産物直売所」下車

(2) 自家用車の利用  
 中央自動車道甲府南インターチェンジ前

**風土記の丘研修センター** TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)  
 12月29日から1月3日

